

2016年6月10日

第24回参議院選挙

北海道選挙区立候補予定者 様
各政党 様

子どもと教育・文化 道民の会

共同代表 姉崎 洋 一 (北海道大学名誉教授)

加藤 多 一 (童話作家)

河野 和 枝 (北星大学教授)

子どもと教育・文化に関するアンケートについて (お願い)

わたしたちの「子どもと教育・文化 道民の会」は、2002年2月22日、自治体首長をはじめ学者研究者・小中高教職員・医師・弁護士・作家・市民など各階各層からの75名の方々の呼びかけのもと結成されたものです。そして、子どもと教育・文化に関するさまざまな団体や個人が協力共同しあいながら、21世紀の北海道の教育を道民的事業として発展させる推進力となるようにねがい、憲法・子どもの権利条約を守り生かそうと今日まで運動をすすめてきているものです。最近では、「子どものいじめ自死問題を考える」連続講演会や「18歳選挙権・主権者教育を考えるつどい」なども開催しています。

子どもと教育をめぐる状況はいっそう深刻になっています。毎年くり返される「小中学生のいじめ自死問題」は常に大きな衝撃となっています。また、「子どもの貧困」「子どもの幸福度」「子どもの自己肯定感」など世界的に見ても最下位に位置する状況となっています。日本の子どもたちのおかれている現状について、2010年6月国連子どもの権利委員会は「過度に競争的な教育環境」の改善をはじめ多くの課題を所見として『勧告』しています。子どもたちが夢と希望を持って豊かに成長できる環境をつくるために、私たち大人のやるべき課題は山積しています。

国際的な基準から見ても日本の教育制度・政策が、子どもと教育の現実を困難にしているのではないのでしょうか。学校地域で直接子どもたちと関わるわたしたち自身の課題や国・地方自治体がとりくむべき教育の諸条件整備の課題を、子どもたちの声に耳を傾けながら推進していくことが求められていると思います。

子どもたちの健やかな成長を願う思いは誰しも同じであります。その方策(政策)についてさまざまなお考えがあると思います。是非、アンケートにお答えいただき、その方策をお聞かせください。

このアンケートの結果につきましては、当会会員のみなさんにお知らせすると共に報道機関等に発表し、広く道民のみなさん方にお知らせし、間近になってきました参議院議員選挙への参考にさせていただきたいと考えています。

誠にご多忙のこととは存じますが、6月16日(木)までにFAXまたはメールにてご回答くださいますようお願い申し上げます。(ご回答できない方もご返送くださいますようお願いいたします)

(連絡先 事務局 柳 悌二 090-9523-4396 札幌市中央区大通西12丁目)

メールアドレス: y.teiji195260@gmail.com

FAX: 011-271-5895